令和4年度授業改善推進プラン　　立川市立第五小学校 こだま学級

教科	目指す資質・能力	具体的な取組
国語	○相手に分かりやすく内容を整理して伝えることができる。 ○興味・関心・意欲を継続して学習に取り組むことができる。 ○スピーチや感想文で、いろいろな気持ちを表す言葉を使いながら自分の気持ちを表現することができる。 ○促音、拗音を正しく書けるようになる。 ○相手のことを意識して話を聞くことができる。	○「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」などの項目の書かれているワークシートを使用する。 ○発達段階に応じた課題に取り組めるよう、習熟度別グループに分けて指導する。 ○児童の実態に応じて、児童がふれたことのある物語や歌、詩などを教材として使用したり、クイズやしりとり、早口言葉などの言葉遊びを学習の導入として取り入れたりする。 ○1単位時間を構造化し、短く区切って指導する。 ○気持ちを表す言葉を例示し、その中から選択させることで、語彙を習得させていく。 ○インタビュー形式で大人とやり取りをする中で、心情を表す言葉を伝え、自分の気持ちに気付かせていく。 ○単語に拍子をつけ、手拍子と合わせて発音するなど体を使って言葉を覚えられるようにする。 例）ス キッ プ（単語） パ パッ パン（手拍子） ○相手を意識しやすい位置に座席を動かしたり、視線を確認したりする。また、聞く時間を徐々に延ばしていき、聞けている状況を即時評価する。
算数	○興味・関心・意欲を継続して学習に取り組むことができる。 ○数の概念を理解し、繰り上がり、繰り下がりのある計算ができる。	○発達段階に応じた課題に取り組めるよう、習熟度別グループに分けて指導する。 ○数え歌や手遊び歌を学習の導入に活用したり、具体物や半具体物を用意したりする。また、身近な事象と結び付けた問題を設定する。 ○授業を構造化し、活動内容を短く区切る。 ○ブロックやおはじきなどの半具体物を繰り返し操作しながら、数の量や数の合成、分解が理解できるようにする。
音楽	○合唱や合奏を楽しむことができる。	○楽器、童歌、リズム打ちなどいろいろな活動を取り入れたり、児童同士の関わりを作ったりすることで意欲的に参加できるようにする。また、同じ教材を繰り返し扱い、安心して参加できるようにする。 ○イヤーマフ（耳当て）を着用させ、音の刺激を小さくする。 ○学校生活の様々な場面で音楽に親しめるようにする。 ○和太鼓の演奏を取り入れ、周りの音を聴いて、自分の音を合わせる経験を通し、合奏の楽しさを味わえるようにする。
図画工作	○自分で考えながら作品を作ることができる。 ○様々な触感を味わうことができる。	○視覚的な支援を用いることで、言葉掛けを最小限にし、児童が自ら考え、活動する時間を確保する。 ○児童自身の力で取り組める活動を基に、作品作りの工程を設定する。 ○発達段階に応じた課題に取り組めるよう、学年ごとに分けて指導をする。 ○糊、粘土、綿等、様々な触感が感じられるものを作品作りに取り入れる。
体育	○運動に関する技能を身に付けることができる。 ○自分の体を自分でコントロールできるようになる。	○スモールステップでの指導・支援を行うため、発達段階に応じたグループ分けをする。 ○楽しみながら運動経験を積んでいけるように、遊びやゲーム形式の活動も積極的に取り入れる。 ○体つくり運動をはじめ、人口芝生ブロックの上を歩くなどの感覚統合運動（あそび）を取り入れる。
日常生活の指導	○身辺自立ができるようになる。	○余裕をもった時間の設定をしたり、見守りながら支援のタイミングを見付けたりする。 ○課題を明確にするとともに、取り組む課題を精選する。 ○着替えの手順カードやトイレのマナーカード等を、提示・掲示し、視覚的な支援をする。